

平成25年度当初予算 施策 取組概要

262 生涯学習の振興

26201 学びあう場の充実 (環境生活部)

26202 地域と連携した社会教育の推進 (教育委員会)

(主担当部局：環境生活部)

県民の皆さんとめざす姿

県民の皆さんの多様な学習ニーズに応えることができる学びの場や機会が、さまざまな主体の力を合わせた活動により数多く生み出され、県民の皆さんが楽しく学びながら、自らの知識や経験を生かして積極的に活動しています。

平成27年度末での到達目標

これまで自己の関心やライフスタイルにあった学習機会を得られなかった県民の皆さんが、容易に自己のニーズにあった学習情報を得ることができ、気軽に学びの場や機会を利用しています。

また、これまで学習活動を行ってきた県民の皆さんも、より高度な三重の文化や文化財が効果的に県内外へ情報発信されるとともに、それらを生かした取組が活発になり、県民の皆さんが、主体的に文化活動に参加・参画し、地域の魅力や価値を高めています。

県民指標

目標項目	23年度 現状値	24年度 目標値 実績値	25年度 目標値 実績値	27年度 目標値 実績値
参加した学習活動に対する満足度	—	72.0%	74.0%	77.0%
	70.2%	—	—	—
目標項目の説明				
【目標項目】 県立の図書館、博物館、美術館、斎宮歴史博物館および生涯学習センターが実施した展覧会、講座・セミナーにおけるアンケート調査で、講座の内容等について、「満足している」と回答した人の割合				

活動指標

基本事業	目標項目	24年度 目標値	24年度 実績値	25年度 目標値	27年度 目標値
26201 学びあう場の充実	県立生涯学習施設の利用者数	655,000人	—	660,000人	855,000人
26201 学びあう場の充実	「協創」による博物館づくりへの参画者数	330人	—	350人	550人
26202 地域と連携した社会教育の推進	社会教育関係者ネットワーク会議への参加者数	110人	—	140人	210人

## 進捗状況（現状と課題）

- 新県立博物館の開館に向けては、参加型のMMM（みえマイミュージアム）プロジェクトや民間企業等との連携にも取り組み始めるなど、協創と連携は進んできていますが、今後は、効果的かつ効率的な活動と運営のための組織や仕組みを検討し、整備していく必要があります。
- 県立図書館は、改革実行計画「明日の県立図書館」に基づく取組を着実に進めており、巡回訪問や職員研修の実施などにより、県内の市町立図書館等との連携に努めるとともに、情報及び物流ネットワークの強化により協力貸出の充実を図りました。今後も、改革実行計画に基づき、さらに取組を進める必要があります。
- 県立美術館は、開館 30 周年記念事業として三重県にゆかりのある企画展を開催するなどにより、幅広い年齢層の方々に来館していただいています。引き続き、所蔵品等の一層の活用を図りながら多様な県民の関心に応えることができる展示、普及活動に取り組む必要があります。
- 斎宮歴史博物館では、歴史講座・古典文学講座とも定員以上の応募があり、また、春、夏の展覧会は、前年比 2 割以上の増となりました。今後さらに集客力を向上させる展示・普及活動が必要です。
- 生涯学習センターは、多様な県民の期待に応えるため、新たに県内博物館と連携して「見る 知る 巡る！ミュージアムセミナー」を実施するなどの取組を行っています。今後も引き続きさまざまな学習機会の提供とより多くの学習情報の発信を行っていく必要があります。
- 各地域における社会教育のさらなる推進のため、行政、社会教育委員等社会教育関係者を対象とした全県ネットワーク会議を実施し、研修及び交流を行いました。今後、社会教育関係団体等の間でのより幅広い情報交流や社会教育関係者の研修が必要です。
- 学校図書館環境整備推進員の配置により、多くの学校で図書館が利用しやすくレイアウトされ、データベース化が進むなど、学校図書館の整備が進みました。今後は、読書活動の普及に向けて、司書教諭や担任教員と連携し、学校図書館の活用を図っていく必要があります。

## 平成 25 年度の取組方向

### 環境生活部

- 新県立博物館については、平成 26 年春の開館に向け、開館に必要な設備や運営体制、県民参加組織などを整備するとともに、市町の博物館や学校等との連携を進め、「ともに考え、活動し、成長する博物館」の実現のために取り組みます。
- 県立図書館は、広域ネットワークを形成し、県内図書館の利用拡大を図るとともに、全県域へのサービス、先進的なサービスを提供します。
- 県立美術館は、県ゆかりの作家を取り上げる企画展や、所蔵品等の一層の活用を図った展示などを実施し、多様な県民の関心に応えることができる展示、普及活動に取り組めます。
- 斎宮歴史博物館は、式年遷宮や史跡整備の進展などを意識した展覧会を実施するとともに、効果的な情報発信により斎宮跡の魅力を高め、集客につなげます。
- 生涯学習センターは、市町や学校等との連携により、魅力ある講座の開催やアウトリーチ事業など、さまざまな学習機会を提供するとともに、三重県生涯学習情報提供システムの運営を行い、多様で魅力ある学習情報を提供します。
- 次世代を担う子どもを対象に、文化・芸術や歴史などに関する参加体験型の学習機会を提供します。

## 教育委員会

- ・ 社会教育関係者の会議や研修会を通じて人材育成を推進します。また、社会教育を推進する体制と連携の強化に向けて、社会教育関係者の交流の場の充実、情報交換の機会確保やネットワークづくりを進めます。
- ・ 県立青少年教育施設においては、平成 25 年 4 月 1 日から、新たに指定管理者を指定し、地域の特性を活かした多様な体験プログラムの開発や新規事業を実施します。また、学校等多様な主体と連携しながら、体験活動の機会の拡充と利用者の拡大に努めます。
- ・ 子どもが主体的、意欲的な読書活動ができるよう、学校図書館と連携した取組を進めるとともに、市町教育委員会等と連携して地域で活動する人材の養成・育成を図りながら、学校、家庭、地域が一体となって、積極的に子どもの読書活動の普及に取り組みます。

## 主な事業

### 環境生活部

#### ●新県立博物館整備事業【基本事業名：26201 学びあう場の充実】

(第 2 款 総務費 第 5 項 生活文化費 3 文化振興費)

当初予算額：(24) 5,167,626 千円 → (25) 1,543,676 千円

事業概要：平成 26 年春の開館に向けて、展示製作、情報システムの構築などの施設整備や広報活動を進めるとともに、MMM (みえマイミュージアム) プロジェクトなど県民参加型の取組や多様な主体との連携により、博物館活動と運営の仕組みを整備します。また、開館時の企画展の準備や、公文書館機能の整備を行います。

#### ●学びの拠点活用支援事業【基本事業名：26201 学びあう場の充実】

(第 2 款 総務費 第 5 項 生活文化費 8 総合文化センター費)

当初予算額：(24) 3,569 千円 → (25) 3,327 千円

事業概要：平成 22 年度に県立図書館が策定した改革実行計画に基づき、市町立図書館等の職員を対象にした研修やさまざまな主体と連携した講座、展示等を実施することにより、全県域・全関心層に向けて先進的で幅広い図書館サービスを提供し、三重県全体の図書館サービスの向上をめざします。

#### ●美術館展示等事業【基本事業名：26201 学びあう場の充実】

(第 2 款 総務費 第 5 項 生活文化費 10 美術館費)

当初予算額：(24) 62,881 千円 → (25) 62,973 千円

事業概要：県ゆかりの作家を取り上げた「歿後 20 年 中谷泰 (仮称)」や子どもから大人まで楽しめる「三沢厚彦 ANIMALS 2013 in 三重 (仮称)」など、魅力的な展覧会を開催するとともに、美術講演会やギャラリートークなどの教育普及活動に取り組みます。

#### ●斎宮歴史博物館展示・普及事業【基本事業名：26201 学びあう場の充実】

(第 2 款 総務費 第 5 項 生活文化費 11 斎宮歴史博物館費)

当初予算額：(24) 10,890 千円 → (25) 10,547 千円

事業概要：古代の斎宮を取り上げた特別展「斎宮誕生 (仮称)」など、斎宮跡の研究成果をふまえた展覧会を開催するとともに、歴史講座や出前講座を実施するなど、本県の古代文化への理解を促進します。また、地域と連携して県内外に斎宮の魅力をアピールします。

●生涯学習センター事業【基本事業名：26201 学びあう場の充実】

(第2款 総務費 第5項 生活文化費 8 総合文化センター費)

当初予算額：(24) 13,506千円 → (25) 13,506千円

事業概要：多様化・高度化する県民の生涯学習ニーズに応えるため、情報の収集、学習機会の提供を行うとともに、市町の生涯学習や地域づくりを支援するための研修会を開催します。

●豊かな体験活動推進事業【基本事業名：26201 学びあう場の充実】

(第2款 総務費 第5項 生活文化費 3 文化振興費)

当初予算額：(24) 8,553千円 → (25) 13,553千円

事業概要：県立美術館、斎宮歴史博物館及び生涯学習センターにおいては、文化芸術に対する感性を育み、本県の文化の継承、発展につなげるため、次世代を担う子ども等を対象に参加体験型の学習機会を提供します。

**教育委員会**

●(一部新)社会教育推進体制整備事業【基本事業名：26202 地域と連携した社会教育の推進】

(第10款 教育費 第6項 社会教育費 1 社会教育総務費)

当初予算額：(24) 1,579千円 → (25) 8,821千円

事業概要：社会教育の振興を図るため、市町教育委員会や社会教育関係団体等との連携を強化するとともに、社会教育関係者の人材育成等を行います。

また、本県で開催される第55回全国社会教育研究大会三重大会と第61回日本PTA全国研究大会みえ大会の開催支援を行い、本県における社会教育の振興を図ります。

●鈴鹿青少年センター事業【基本事業名：26202 地域と連携した社会教育の推進】

(第10款 教育費 第6項 社会教育費 1 社会教育総務費)

当初予算額：(24) 70,193千円 → (25) 68,248千円

事業概要：青少年の健全な育成に向けて、地域の伝統工芸である伊勢型紙の創作活動や児童生徒の自主性を育むキャンプなど、さまざまな体験活動を実施し、集団宿泊研修の機会の充実を図ります。

●熊野少年自然の家事業【基本事業名：26202 地域と連携した社会教育の推進】

(第10款 教育費 第6項 社会教育費 1 社会教育総務費)

当初予算額：(24) 78,919千円 → (25) 42,360千円

事業概要：少年の健全な育成に向けて、施設内でのフィールドアスレチックや天体観測体験、地域の豊かな自然を生かした野外活動など、さまざまな体験活動を実施し、集団宿泊研修の機会の充実を図ります。

●子どもと本をつなぐ環境整備促進事業【基本事業名：26202 地域と連携した社会教育の推進】

(第10款 教育費 第6項 社会教育費 1 社会教育総務費)

当初予算額：(24) 40,654千円 → (25) 10,791千円

事業概要：「第二次三重県子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもが自主的に、楽しみながら読書活動ができる環境づくりを進めます。また、小中学校の図書館の計画的な環境整備をモデル的に実施するため、学校図書館環境整備推進員(12名)を配置します。